

食料配布活動 留学生も参加

甲府で生活困窮者に

NPO法人やまなしライフサポート(中山八十司理事長)は22日、甲府市中央2丁目の甲府カトリック教会で生活困窮者に食料を配布した。スウェーデンのカルマレ国際高校からの短期留学生5人がボランティアとして参加し、訪れた人に食品を手渡した。写真。



同法人は毎週木曜日に同所で食料を配布している。短期留学生は、甲府市出身の吹野雅子教諭が同校で日本語を教えていることなどをきっかけに、食品ロスや貧富の差の解消をめざす日本の支援について学ぼうと参加した。

22日はスウェーデンから持ち寄ったチョコレートや菓子を袋詰めし、米3合とレトルト食品、缶詰など40セットを準備。生徒たちは訪れた人の検温をしたり、食品を手渡したりした。

3年のサムエル・バークホルズさん(20)は「人生で困難な状況に置かれた時、支えになる重要な仕事を手伝うことができて本当によかった」と笑顔。「食品ロスを無くし必要な人に届けるためにも、『もったいない』の精神が大切だと感じた」と話した。

〈戸松優〉